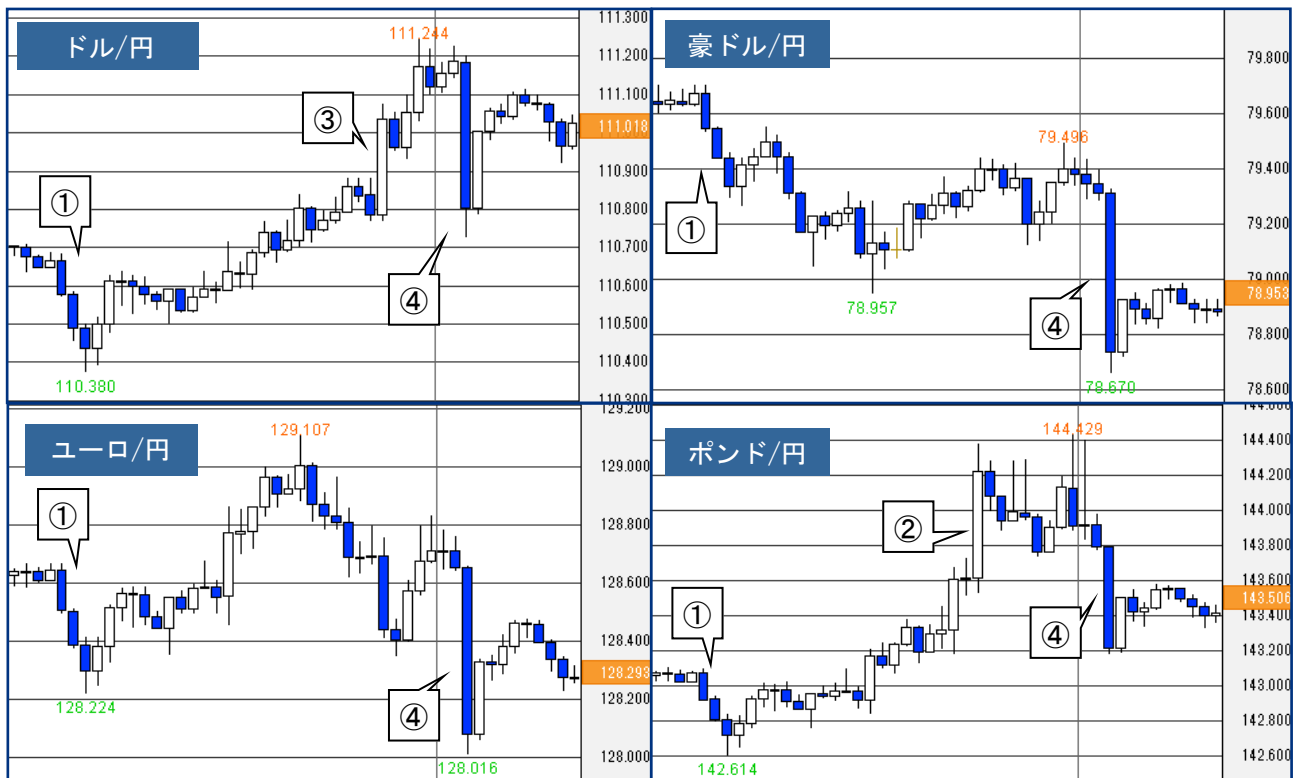


9月10日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、20日移動平均線へ回帰

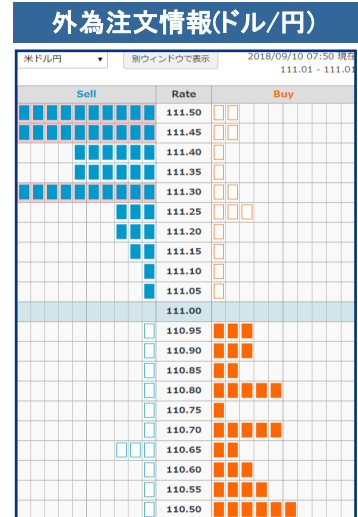
7日(金)の為替相場



期間 7日(金)午前6時10分～8日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

- ① 「トランプ米大統領は次に日本との貿易戦争になると示唆」とする前日終盤の米メディア報道の余波で円買いが先行。ドル/円が8月22日以来の安値となる110.30円台に下落した他、クロス円も弱含んだ。
- ② 英国の欧州連合(EU)離脱=Brexit問題でEUの首席交渉官を務めるバルニエ氏は、Brexit後のEUとの関係について英政府が策定した白書は「多くが有用」で、アイルランド国境問題の解決で新たな提案を検討する可能性は閉ざされていないと述べた。この発言が伝わると、「合意なきBrexit」への警戒が緩み、ポンドが上昇した。
- ③ 米8月雇用統計の主な結果は、非農業部門雇用者数が20.1万人増(予想19.0万人増)、失業率は3.9%(同3.8%)、平均時給は前月比+0.4%、前年比+2.9%(同+0.2%、+2.7%)であった。非農業部門雇用者数は予想を上回ったが、6月と7月分で合計5.0万人が下方修正された。失業率は予想を上回ったが、フルタイム職を望みながらもパート職に就いている人なども含めた広義の失業率である不完全雇用率は7.4%に改善して2001年4月以来の低水準を記録した。また、平均時給は前年比で2009年6月以来、約9年ぶりの高い伸びとなった。平均時給の高い伸びを受けて米長期金利が上昇する中、ドル買いが優勢となり、ドル/円は111.20円台まで上昇した。
- ④ トランプ米大統領は「中国からの輸入2670億ドル相当に対して追加関税を賦課する用意がある」と発言。2000億ドル相当への対中関税第3弾に続く、第4弾の発動も視野に入れている事が明らかとなり、リスク回避の動きが強まると、ドル/円やクロス円が反落。ただ、リスク回避のドル買いも根強く、ドル/円は下げ渋った。

7日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22307.06 ▼180.88	6143.814 ▼16.606	2702.301 △10.708	7277.70 ▼41.26	11959.63 △4.38
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25916.54 ▼79.33	0.1130% △0.0020	2.548% ▼0.019	1.459% △0.043	0.387% △0.032
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.7025% △0.0696	2.9388% △0.0657	67.75 ▼0.02	1200.40 ▼3.90	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.500-111.400	127.600-128.800	78.500-79.500	142.800-144.200

【ドル/円】

7日のドル/円は小高いながらも方向感を欠く展開。まずは、日米貿易摩擦への懸念から110.30円台へと売りが先行。しかしその後はじりじりと値を戻し、米8月雇用統計の好結果で111.20円台まで反発した。ただ、トランプ米大統領が対中関税第4弾の可能性に言及すると110.70円台に反落。それでもドル買いニーズは根強く、111円台に持ち直してクローズした。

日米貿易摩擦も米中貿易摩擦も米8月雇用統計も決め手にならず、ドル/円は20日移動平均線の前後へ回帰している。本日も、この20日移動平均線(執筆時110.974円前後)を大きく離れる事はなさそうだ。20日移動平均線を中心とするボリンジャーバンドの±1シグマ内(110.561~111.391円)でもみ合う展開が続く公算が大きい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
9/10(月)	10:10		(日) 日銀国債買入れオペ(1-3年、3-5年、5-10年)	-	-
	10:30		(中国) 8月生産者物価指数(前年比)	+4.6%	+4.0%
	10:30		(中国) 8月消費者物価指数(前年比)	+2.1%	+2.1%
	17:30		(英) 7月貿易収支	-113.83億ポンド	-117.40億ポンド
	17:30	○	(英) 7月鉱工業生産指数(前月比)	+0.4%	+0.2%
	17:30		(英) 7月製造業生産指数(前月比)	+0.4%	+0.2%
	25:00		(米) ポスティック・アトランタ連銀総裁、講演	-	-
	28:00		(米) 7月消費者信用残高(前月比)	+102.11億ドル	+144.00億ドル

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com